

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（3月定例会）
開催日時	令和8年3月27日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	田無第二庁舎5階会議室
出席者	委員：川原議長、松本副議長、伊尻委員、岩穴口委員、山本委員、堀田委員、河野委員、高橋委員、田口委員 事務局：大内地域学習推進課長、鬼頭地域学習推進係長、齋藤主任、石島主事
議題	(1) 生涯学習の情報発信について (2) 今後の活動について
配付資料	
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

議題（1）生涯学習の情報発信について

●事務局より、生涯学習のポータルページのレイアウト案について、前回の定例会の意見を元に作成した下記の案1、案2について説明。

案1 生涯学習の導入説明について、キャラクターの会話形式で説明。

案2 導入説明をキャラクターの会話ではなく、吹き出しを追加した図と文章で説明。

○議長：最終案として、案1と案2のどちらかに決めたいと思うが、委員各位から意見はあるか。

○議長：どの様なコンテンツがあるのか一目で見やすいため、案1の方が良いと考える。

○委員：各コンテンツへのリンクバナー画像について、フォントと背景色はどの人からも見やすいように修正して欲しい。

○議長：「講座や講師を探す（仮）」の見出しについて、「講座や講師等を探す」の方が良いと考える。

●議長：ホームページの最終案については、案1をベースに、意見があったバナー画像に修正を加えたものが最終案になると思うがよろしいか。

一同、異議なし

議題（２）今後の活動について

●事務局より、次年度以降の活動テーマについての事務局の想定を改めて説明。

●議長：これまで挙げたテーマ一覧としては下記の通りになるが、間もなく次年度が始まるためこれらの案を組み合わせてテーマを検討することが良いと考える。委員各位から何か意見はあるか。

案１ ホームページの見直し、アナログメディアとの連携について

案２ ライフステージに応じた生涯学習は何か考える

案３ 生涯学習に関する、市民のニーズや困り事を調査する

案４ 各施設でどのような学びが行われているかを、「学び続ける市民が多い街西東京」という名のパンフレットにまとめる。

案５ 市民の「学習したい」というニーズにどう応えるか考える。

○委員：成果物は提言にはしないとのことだが、過去の社会教育委員の会議で、今の時期から提言をまとめたこともあるため、報告書など提言に近い形でまとめられると良いと思う。また、ホームページ見直し結果の分析は、引き続き確認して欲しい。

○委員：教育委員会に意見を伝えるために提言を出したいと思う一方で、提言をまとめることは事務局側の負担も大きいと、今の時期から取り組むのは難しいとも思う。

○議長：提言でなくても、社会教育委員と事務局で座談会という形で今期を振り返り、その様子を議事録に残すことでも市へ意見を伝えることができると思う。

○委員：これまで出した提言がどのように市政に反映されたのか知りたい。また、市民のニーズ調査について、新たに調査を実施するよりも、これまで実施したアンケートを確認した方が早いと考える。

○事務局：過去の提言の反映については、直近では当課の組織改正や、放課後子供教室の事業などに提言を反映している。また、これまでの調査結果については、教育計画策定時に実施したアンケート結果がある。

○委員：委員各位がそれぞれの活動の中で感じている課題も重要だと思う。成果物としては、今取り組んでいる情報発信とは別の軸で、座談会など取組んでいけたらと思う。

○委員：教育計画のアンケートでは、青少年の回答率が低かった。ライフステージを考えた時、どの世代にも広く周知し広く学習できる機会があるべきだと思う。また、残る５つのテーマ案について、一個のテーマにこだわるのではなく、それぞれを互いに絡ませてみても良いと思う。

- 議長：これまで出た意見から、例えば案2と案5を組み合わせ、「ライフステージに応じた生涯学習・社会教育のニーズや課題を出し解決策を考える」を仮テーマとし、あと8、9回の会議で何ができるか議論していきたいと思うが、何か意見はあるか。
- 委員：「ニーズや課題を出し解決策を考える」とは、何か市民のニーズに対して、それを解決するためには何が課題なのかを考えるのか、あるいは、課題に対してどういうニーズがあるかを考えるのか、どちらの想定なのか。
- 議長：ニーズは学習者の目線で、課題は行政側の印象があるが、それ以外に地域の課題もあるので、テーマは分かり易いように「ライフステージに応じた課題」に変更したいと思う。
- 委員：ライフステージの定義は立場や性別によっても変わるため軸が一つではない。文部科学省の生涯学習の調査で、ライフステージ毎の特性や課題をまとめているため、そういった情報も参考にすべきだと思う。
- 委員：社会教育においては、本人が言語化できていないニーズもあると考える。
- 議長：言語化されていないニーズについては、地域や庁内の方にインタビュー（研修会）を実施してニーズを把握していきたい。研修会は夏頃を目途に研修会を実施したいと考える
- 委員：教育計画の内容から、「ライフステージに応じた学びの機会の充実」という言い方もより分かり易いのではと考える。
- 委員：多摩市の若者会議を西東京市にも導入したいと思っていた。18歳以上の若者たちにも居場所の確保のニーズがあるので、そのようなテーマにも取り組みたい。
- 委員：市民の方が何か「気づき」を得られるようなチラシかパンフレットを、ホームページのみではなく、紙ベースでも出したいと思う。
- 議長：スケジュールの案を整理すると、以下のようになると考える。
令和8年度： 定例会は12回。4月は今後の活動方針の議論となるので実質11回。
令和9年度： 定例会は3回。3回とも座談会や成果のまとめを実施。
- 委員：成果については、市報でも周知できるように広報担当とも調整して欲しい。
- 委員：放課後の子どもや大学生がどのように学習しているか、見えないところの生涯学習について当事者に話を聞いてみたい。
- 委員：ライフステージの定義を明確にした上で、各ステージでの課題は何かまとめられると良い。

●議長：本日の議論をまとめると以下のようにになると考えるがよろしいか。

次年度の活動テーマ案：

ライフステージに応じた生涯学習の課題

具体的な活動内容の案：

- ・既存のアンケート結果の考察
- ・ライフステージの定義及びライフステージ毎の課題の検討
- ・地域や庁内の方等へのインタビュー（研修会）を通じた、地域の生涯学習の課題、言語化されていないニーズの把握。
（夏頃目途に研修会を実施する。最大2回程度を見込む。）
- ・ライフステージに応じた学びの機会の充実を考える。

次回定例会の議題の案：

1. ホームページ見直しの進捗報告
2. ライフステージの定義、および活動内容の議論
3. 令和8年度のスケジュールについて
4. 成果のまとめ方について（ホームページへの掲載か、座談会かパンフレットか等）

一同、異議なし

次回会議

日時 令和8年4月24日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎2階会議室